



自衛隊への名簿提出についての請願

請願の趣旨

横須賀市による自衛官募集のための自衛隊への名簿提出をやめてください

横須賀市は、自衛官募集に際して18歳と22歳の名簿を自衛隊に提出しています。

私たちは、このことを2019年3月の新聞報道で知りました。

2015年以降2018年までに出された名簿は、2万人を超えました。市は本人に知らせることなく提出し続け、上地市長は「本人が拒否しても提出する」と2019年12月定例議会で発言しました。

名簿に記載される情報は、氏名・住所・性別等、人に知られたくない、慎重に取り扱うべき個人情報です。情報漏洩や、情報が加工され二次利用されるなど「自己情報コントロール権」をさらに侵害される危険性があります。何より、自衛隊から勧誘のダイレクトメールが来たり、自宅にポスティングされたりすることに不安を感じる市民は少なくありません。実際に「嫌だ」と感じる市民が大多数であることが、街頭でのシール投票で示されています。

私たちには、基本的人権の尊重をうたった日本国憲法により「情報の自己決定権」が保障されているはずですが、市民の個人情報を守るべき立場の自治体が、特定の団体に名簿提出するなどあってはならないことです。利用目的の制限も設けておらず、提出後にどう利用し、どう処理しているかを市が確認しないのも不安です。住民基本台帳法には、名簿提出を許可する項目はありません。『名簿は出せない』というのが合理的判断だと考えます。

請願項目

- 1、横須賀市は、市民の個人情報を守ってください。
- 2、横須賀市は、自衛隊への名簿提出を二度としないでください。
- 3、提出済みの名簿を破棄するよう自衛隊に要求し、それを確認してください。

2020年8月18日

横須賀市議会議長

板橋 衛様

